

福井県予算編成システム再構築および運用保守業務に係る

デモンストレーション動画作成シナリオ

【留意事項】

- 「1 予算要求機能」から「3 決算統計機能」まで、各シナリオは各10分程度とし、全体で35分以内の動画とすること。
- 画面の映像のみを映し出すこと（操作者の手元等の収録は不要）。
- システム動作を確認するため、途中動作の省略は行わないこと。
- 説明は、簡素なテロップまたは簡潔な音声での説明によるものとし、効果音の挿入やシステムで使用されない強調表示は利用しないこと。
- シナリオのうち、指定のない事項については、必要に応じて任意で設定すること。
- 各処理段階において、関連するサポート機能等がある場合は適宜紹介すること。

【以下のシナリオにおける用語】

担当者A 各課における予算担当職員

担当者B 財政課における査定担当職員

担当者C 財政課における予算・決算集計とりまとめ担当職員

【予算要求編】

1 予算の要求情報の入力および査定業務

- ① 担当者Aは、課内で作成した予算資料を基に、予算要求処理を行う。
その際、要求事業は新規事業とし、新規ユニットの作成から要求情報の入力までの一連の流れを示すとともに、要求資料のアップロードについても提示すること。
〔Ⅰ 予算資料（鑑）（.docx）、Ⅱ 積算資料（.xlsx）、・Ⅲ 参考資料（.pdf）〕
※ ⅡおよびⅢは資料が複数枚あるものとする
- ② 担当者Bは要求資料に基づき査定業務を行う。
その際、査定業務がシステム上で完結するとともに、査定による係数の変更に伴う積算等のシステム修正方法がわかるようにすること。
- ③ 担当者Aは査定結果に基づき、要求資料を修正のうえアップロードする。

【予算分析・集計編】

2 予算集計・分析業務

- ① 担当者Cは、予算の各査定段階において集計および分析業務を行う。

その際、下記の集計および分析業務について提示すること。

〔Ⅰ 査定結果をうけ、複数のユニットを統合または分割し係数を管理 〕

〔Ⅱ 査定段階別で財源、目的、性質別で計数を集計、査定増減を管理 〕

〔Ⅲ 財源、性質、目的ごとに設定した過去の計数との計数増減比較・分析〕

加えて、フォローアップの体制についても提示すること。

- ② 議案書および予算案説明書の作成。

その際、議案書作成機能の使用手順および原稿作成手順を提示すること。

同様に、予算案説明書作成機能の使用手順および原稿作成手順を提示すること。

【決算統計編】

3 決算統計業務

- ① 担当者Aは、決算統計の入力業務を行う。

その際、歳入決算および歳出決算のシステム操作の一連の流れを提示するとともに、修正および項目の追加といった実務作業についても提示すること。

- ② 担当者Cは、決算統計の集計・分析業務を行う。

その際、下記の集計および分析業務について提示すること。

〔ⅰ 総務省指定様式への対応 〕

〔ⅱ 純計操作等の決算特有の事務作業に対するシステム操作手順 〕

〔ⅲ 過年度決算との比較等、分析業務に関するシステム操作手順 〕

加えて、フォローアップの体制についても提示すること。

※新規機能等の説明に関して

今回の提案に含める新規機能等については、1～3のデモンストレーション動画の中に紹介を含めてもよいものとする。

ただし、各シナリオにおいて定める目安時間（10分程度）を大幅に超過し、シナリオ毎に指定された説明要件を満たしていない、または全体の設定時間35分を超過するものについては減点対象もしくは提案不受理となるため、注意すること。

以上